

第15回 嬉野市塩田庁舎等利活用検討委員会 資料

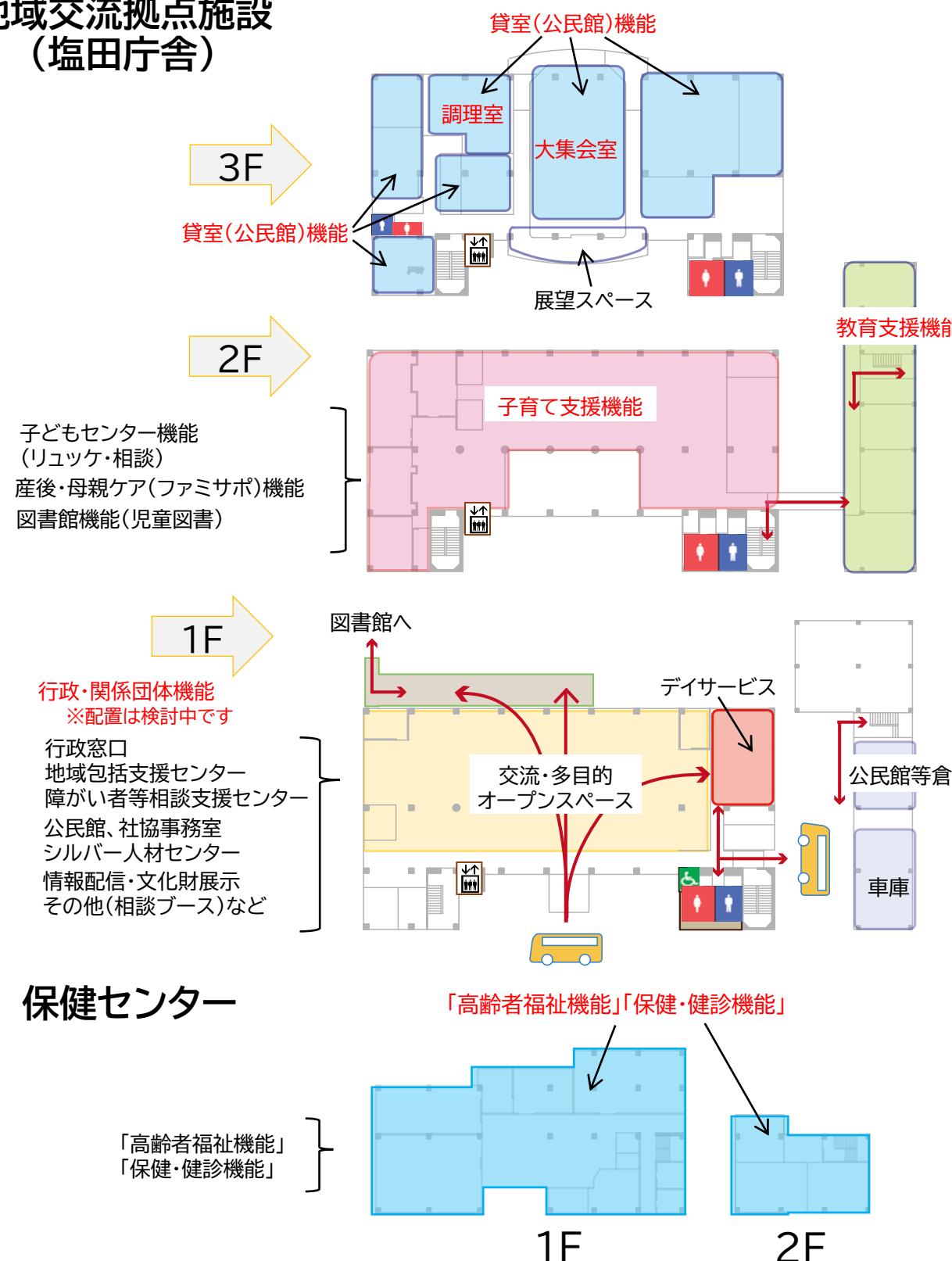
- ① 地域交流拠点施設のゾーニング(案)について(2ページ)
- ② 敷地(案)について(3ページ～6ページ)
- ③ 官民連携で実現したいことそだて支援機能への要求事項(7ページ)
- ④ 塩田庁舎等利活用基本計画の素案について(別冊子)

令和7年6月11日

① 地域交流拠点施設等のゾーニング(案)について

- 塩田庁舎は、庁舎の窓口機能の他、各種相談窓口や関係団体の事務スペースを確保し、相談拠点としての機能を持つほか、中央公民館のサービスを移転するとともに、子育て支援機能などを集約した、地域の核となる地域交流拠点施設として複合施設への改修を行うとともに、にぎわい創出事業として官民連携の施設づくりを進めます。
- 保健センターは、がん・子ども健診等の健診事業以外の日は高齢者福祉事業を実施するなど、高齢者福祉事業、保健・健康増進事業の「実施の場所」として機能を集約します。

地域交流拠点施設 (塩田庁舎)



4階 防災倉庫及び書庫

- 避難所機能となるため4階倉庫を備蓄倉庫とし、避難時の備品のほか、市役所で必要な備品も保管します。また、書庫には市役所の文書を保管する計画です。

3階 貸館機能(公民館)機能

- 公民館の貸室は、基本的に間仕切り等は変更せず、現区分での活用を想定しています。
- 議場は、中央公民館の大集会室で利用率の高かった100名程度を収容できる規模とし、それ以上の集会や利用内容により、リバティや楠風館での施設利用を促します。(※フラットの床を想定)
- 避難所機能も含め公民館機能の一つとして調理室を新設します。

2階 子育て支援機能(官民連携によるにぎわい創出)

- 本施設のにぎわい創出の核として「子育て支援機能」を整備します。
- 子ども向けの図書や、子ども(遊び・交流の場)以外にも母親対応の機能や相談・一時預かり機能も加えるなど、官民連携事業として民間の創意工夫を最大限活かしたいと考えています。

2階別棟 教育支援機能(新設)

- 2階別棟を教育支援機能として機能を固定し、充実を図ります。

1階 行政・関係団体機能及びデイサービス

- 1階のレイアウトは、「交流・多目的スペース」をメインのオープンスペースとして広く確保し、テーブルやイスなどを配置し、日常で自由に活用できる空間にします。
- 行政手続き全般の窓口サービスの他、「地域包括支援センター」「障がい者等相談支援センター」など窓口を集約し、相談拠点としての機能を強化します。また公民館や社会福祉協議会、シルバー人材センターなどの事務スペースを確保します。
- 情報配信(文化財展示)の一部は、固定した空間を確保せず、企画展示のようなイメージとします。
- 西側通用口近くに、生きがいデイサービス事業のスペースを確保します。(バリアフリートイレにも近く、送迎車の横づけも可能なため。)
- 南側ベランダから図書館へ抜ける通路を拡張し、テーブルやイスを配置します。
- 別棟1階に公民館等倉庫などを配置します。

1・2階 「高齢者福祉機能」「保健・健診機能」(保健センター+老人福祉センター)

- 高齢者福祉事業、保健・健康増進事業の「実施の場所」として再編します。
- がん・子ども健診等の健診事業以外の日は高齢者福祉事業を実施する施設とします。

② 敷地(案)について 1/4

敷地プラン A：滞留機能向上

中央公民館跡地>観光駐車場

特徴：

- ・ 公民館跡地を活用し駐車台数を増加
- ・ 広さの感じられる空間

配置：

- ・ 駐車場を整備し、保健所の地階出入り口への導線を確保

課題：

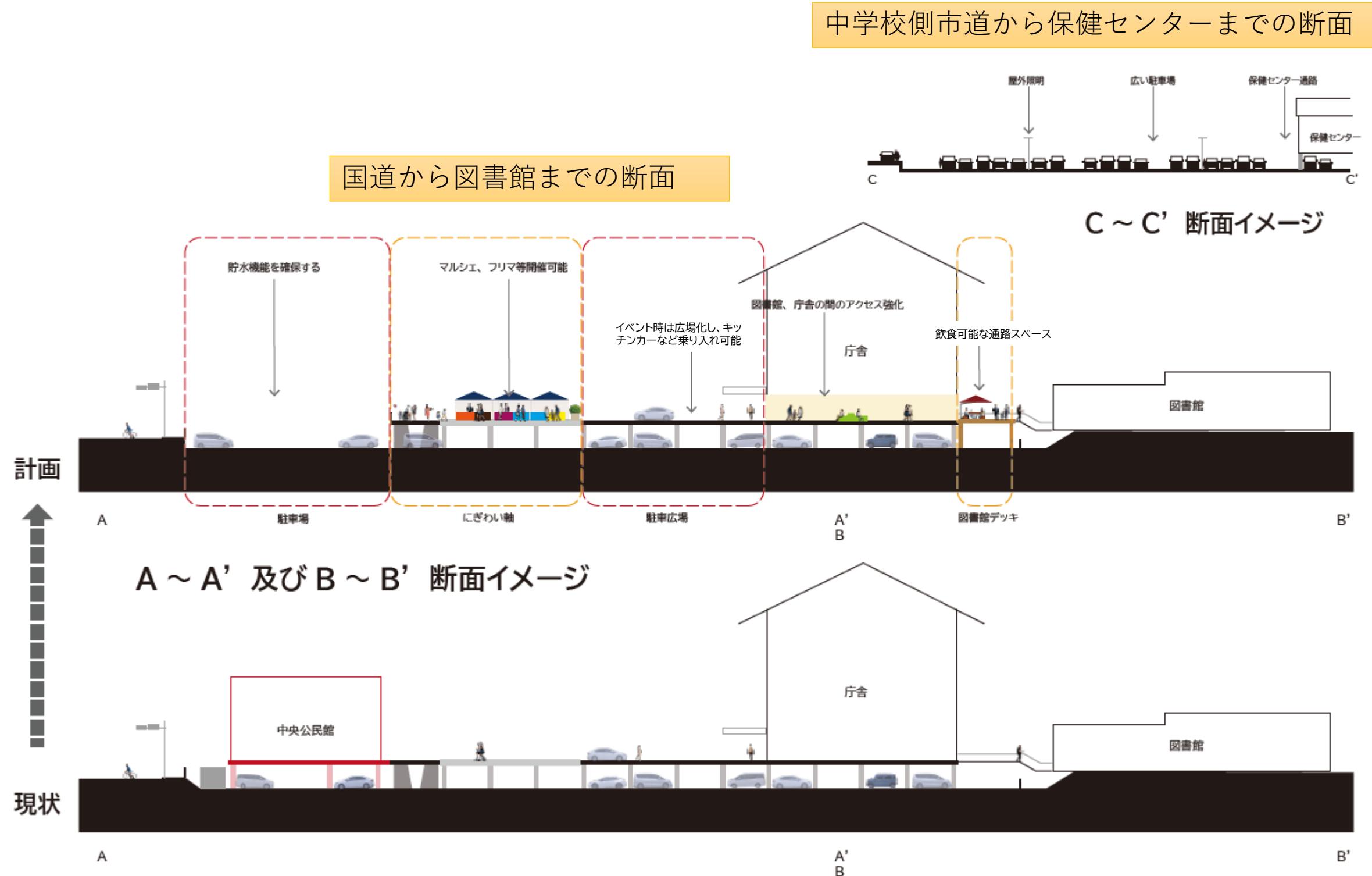
- ・ 駐車場が国道に面し、景観面への配慮は難しい
- ・ にぎわい作りに工夫が必要
- ・ 高低差処理がないため、用途が制限される

駐車台数概算	
庁舎 BF	約 120
庁舎 1F 玄関前	約 15
公民館跡地	約 40
保健センター前と BF	約 45
合計	約 220

*駐車場通路は 5.5M、駐車スペースは幅 2.5M、奥行 5Mを想定
*概算は 5 台分スペースを単位で行う



プランAの断面図イメージ



② 敷地(案)について 3/4

敷地プラン B：緑と遊び

中央公民館跡地>高低差を利用した広場

特徴：

- ・ 公民館跡地と塩田庁舎のデッキの高低差を活用
- ・ 塩田津とのつながりも持たせ、国道及び長崎街道からバリアフリーで接続
- ・ 塩田中学校横の空地空間と連動、緑豊かな都市空間を創出
- ・ こどもの遊び場を併設

配置：

- ・ 公民館跡地の西側に緩やかなデッキ、東側に広場を整備
- ・ 広場を囲むようなイベントができる歩行空間を配置
- ・ 出入口、保健所の前は車両用スペース

課題：

- ・ 主要出入口は駐車場であり、景観面への配慮は難しい
- ・ 遊び広場は国道に面しているので、視認性が良いものの、交通外部影響からの緩衝が必要
- ・ デッキや遊び場に高低差があるため、安全対策が不可欠

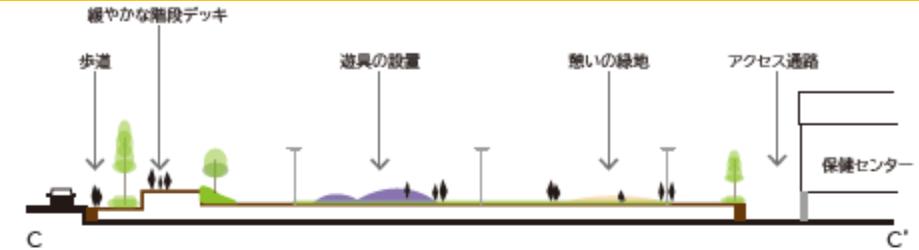
駐車台数概算	
庁舎 BF	台数 約 120
庁舎 1F 玄関前	約 15
保健センター前と BF	約 45
合計	約 180

*駐車場通路は 5.5M、駐車スペースは幅 2.5M、奥行 5M を想定
*概算は 5 台分スペースを単位で行う



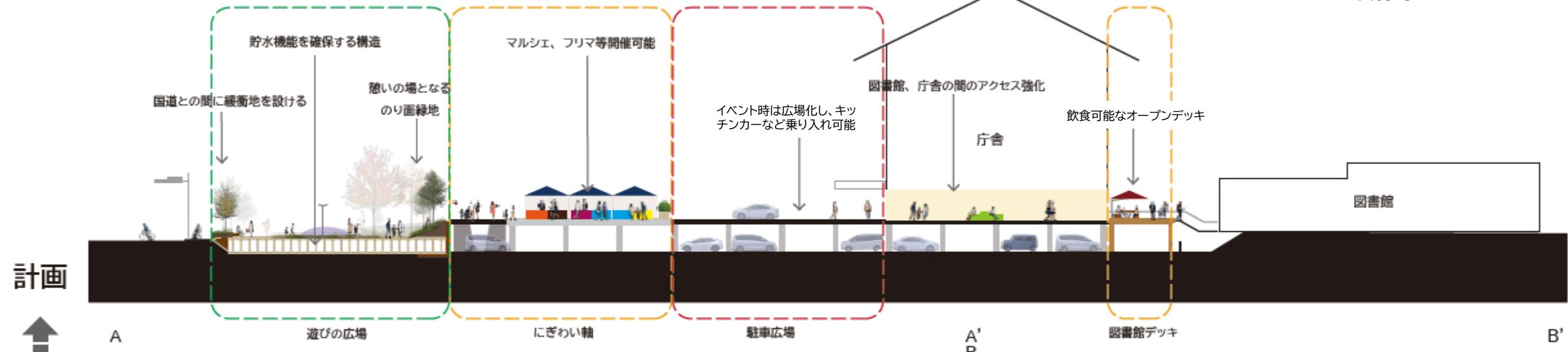
プランBの断面図イメージ

中学校側市道から保健センターまでの断面

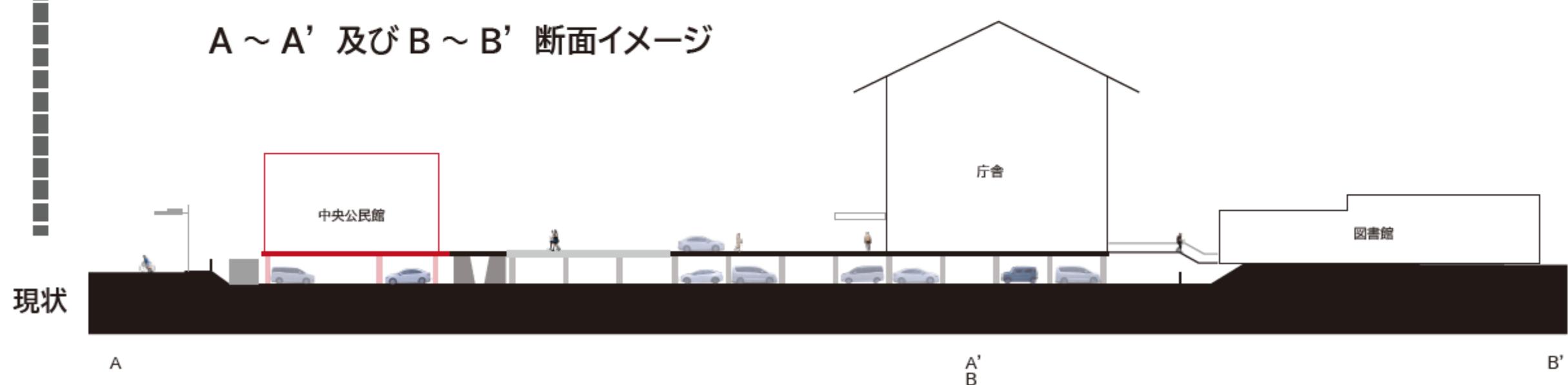


国道から図書館までの断面

C ~ C' 断面イメージ



A ~ A' 及び B ~ B' 断面イメージ



③ 官民連携で実現したい「子育て支援機能」への要求事項について

官民連携で実現したい「子育て支援機能」への要求事項(例)

1. 基本的な施設機能への要望

- 活動や遊具が多様で、市内外からの子育て世代もが行きたくなるような施設整備
- 子どもの居場所も含め幅広い子どもに対応できる施設
- 清潔で安全な環境の確保(定期的な清掃・消毒)をお願いしたい
- ベビーカーや車いすでも入りやすいバリアフリー設計にして欲しい
- おむつ替えスペースや授乳室の充実
- 子どもトイレの設置
- 年齢に応じた遊具や絵本を充実して欲しい
- 安心して遊ばせられる見守りスペースを設置してほしい
- 転んで遊べるスペースを確保して欲しい
- 保護者がくつろぐスペース
- 育児や子育てに関する相談スペース
- スタッフルームの設置(打合せ・反省会・資料つくり)

2. 実施するサービスについての要望

- 天候に左右されなく外遊び相当な遊べる場所の提供
- これまで実施してきたリュックのサービスは継続して欲しい
- 新しいサービスをするのであれば、スタッフの確保などが必要
- 年齢別の遊び・交流プログラムの提供(0~1歳、2~3歳など)
- 保護者向けの子育て講座や交流会の開催
- 子どもと一緒に楽しめる季節イベントやワークショップ
- 育児相談やカウンセリングの実施(常設または予約制)

3. 運営面の要望

- 開館時間の柔軟性(他の施設内サービスとの調整・セキュリティ)
- 利用予約の簡便化(Web予約やLINE予約対応など)
- イベント情報や日々の活動紹介などの充実(携帯で見れる)
- 一時預かりサービスの拡充